

vol.1

撮影対応における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン

一般社団法人ロケツアーリズム協議会

運営事務局

撮影対応における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン

はじめに

本ガイドラインは政府の「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」において、示されたガイドラインを、一般社団法人ロケツーリズム協議会の会員が行う映像作品の地域及び施設での撮影対応における新型コロナウイルス感染予防策として実施すべき基本的事項を整理したものである。

◆項目◆

①撮影のお問合せ時／②ロケハン来訪時／③現場撮影時

① 撮影お問合せ時

- ・ヒアリングシート記入時に「来訪人数」「来訪車両台数」「滞在日数」を確認
- ・制作者及び制作会社所有の撮影用ガイドラインの提示
- ・感染予防対策時にてロケ場所での急な要請、要望等発生する可能性がある旨を連絡
- ・マスク、消毒液等の感染予防対策に関する備品は制作者側で準備してもらう

② ロケハン来訪時

◆「事前確認」

- ・来訪方法(自動車・電車・飛行機)と現地での移動手段方法を確認
- ・最大2名までの来訪を依頼
- ・車両にて来訪される場合は事前に駐車場所や移動の有無を確認
- ・メインロケハンでの来訪は原則5名以下に調整してもらう
(例：監督、美術部、録音部、照明部、制作部の各部署代表者で調整)

◆「ロケハン案内時」

- ・案内時は2メートルの社会的距離を確保してロケハン同行する事
- ・原則制作者最大2名、現地対応担当1名の計3名以下にて行う事
- ・ロケハン移動の車両は移動中の社内換気に務める事
- ・道中での食事時間(昼食・夕食)を避けられる時間設定で案内する事

◆「撮影当日に向けての確認事項」

- ・キャスト、スタッフ、関係者含めて撮影日来訪人数は正確に共有してもらう事
- ・エキストラ手配の必要の可否を確認(人数、拘束時間等)

③ 現場撮影対応時

◆「現地移動に関して」

- ・大型車による移動の場合は社内乗車数が50%以下になるよう努める事
- ・公共の交通機関を利用する場合は事前に共有するよう確認する事
- ・複数個所での撮影の場合、移動時間を時間差で行う事
- ・通勤路、通学路として混雑が予想される場所の該当時間の移動は避ける事

◆「衣裳、メイクに関して」

- ・ロケ地側手配のエキストラと接触する場合は手指のアルコール消毒を行い、使い捨て手袋を装着して作業してもらう事。使用した手袋は制作側で持ち帰る事

◆「美術、大道具に関して」

- ・撮影で使用する美術品、大道具、小道具に関しては原則触れないようにする事

◆「キャスト、エキストラに関して」

- ・キャストは個人の控室を用意。または2m以上の間隔をとれる広い場所を確保し、衝立やビニールシートなどでの間仕切りを促す事
- ・ロケ地手配エキストラの待機場所は、個々で2m以上の間隔をとれる広い場所を確保し、マスクの着用、入出時のアルコール消毒の徹底を行う事

◆「現地担当者の立ち会いに関して」

- ・室内での撮影の場合、責任者1名の立ち会いを原則とする事
- ・屋外での撮影の場合、責任者1名含めその他担当者として2メートルの社会的距離を確保して立ち会う事
- ・監督モニター、記録係等のベース設置場所に関しては、4メートル四方の中に1人となるように調整してもらう事

◆「食事に関して」

- ・現地でのお弁当手配の場合、該当店舗の新型コロナウイルス感染予防対策ガイドラインを確認し制作者と共有する事
- ・食事休憩は制作スタッフ及び立ち会い担当者と時間をずらして2組に分割して休憩をとってもらう事
- ・ケータリングの提供、及び現地特産品の差し入れ提供は当面控える事
- ・食事をしながらの打ち合わせや会話は極力控える事